

パージェタ・ハーセプチン・ドセタキセル療法

FN(-): 催吐性(-)

診断名: HER2 陽性の手術不能又は再発乳がん

○投与スケジュール(1 コース 21 日間)

Day1(点滴): パージェタ 初回 840mg/body 2 回目以降 420mg/body

Day1(点滴): ハーセプチン 初回 8mg/kg 2 回目以降 6mg/kg

Day1(点滴): ドセタキセル 75mg/m²

○注意事項

選択基準: ベースラインの LVEF \geq 50%(心エコー又は MUGA スキャンで測定)

1. 心障害対策: ハーセプチン投与前、投与開始後6カ月~1年以内に、心機能を評価する。
2. パージェタを単独投与した場合の有効性及び安全性は確立していない。
3. パージェタの投与調整: 前回投与日から6週間以上の投与間隔が空く場合は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。
4. ハーセプチンの投与調整: 前回投与日から6週間以上の投与間隔が空く場合は、改めて初回投与量の8mg/kg で投与を行う。
5. パージェタ投与後の経過観察時間は infusion reaction 症状を確認するための時間であり、2回目以降、問題がなければ省略可能。(infusion reaction は主に初回投与時の投与中又は投与開始後24時間以内に出現することが多い。)